

様式第1号 (第3条、第5条関係)

地球温暖化対策計画 作成 報告書 (義務)

平成30年 12月26日

(宛先)  
埼玉県知事

提出者 ①東京都中央区日本橋1-1-1  
②東京都豊島区東池袋5-51-12

①国分グループ本社株式会社  
②株式会社マルエツフレッシュフーズ

①取締役会長兼CEO 国分 勘兵衛



②代表取締役社長 池野 賢司



(個人事業者にあつては、住所  
及び氏名 (自署又は記名押印))

①03-3276-4121  
②03-3590-1110

平成 30 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化  
対策推進条例 第 1 2 条 第 1 項 前段 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	食料品製造業	番 号	09
燃 料 等 使 用 量 ( 店 舗 面 積 )	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量		3,684 kL/年
	(大規模小売店舗の場合は、店舗面積		m <sup>2</sup> )
変 更 の 場 合	変更年月日		
	変更の理由		
自動車地球温暖化 対策計画等との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第 号該当		
連 絡 先	所 属 部 署	別紙のとおり	
	職 ・ 氏 名		
	電 話 番 号		
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考			

- 注
- 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線で消すことにより特定すること。
  - 2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



地球温暖化対策実施状況報告書

平成30年 12月26日

(宛先)  
埼玉県知事

提出者

- ①東京都中央区日本橋1-1-1
- ②東京都豊島区東池袋5-51-12

- ①国分グループ本社株式会社
- ②株式会社マルエツフレッシュフーズ

①取締役会長兼CEO 国分 勘兵衛



②代表取締役社長 池野 賢司



〔 個人事業者にあつては、住所  
及び氏名（自署又は記名押印） 〕

- ①03-3276-4121
- ②03-3590-1110

平成 29 年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第 1 4 条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	食料品製造業	番 号	09
燃料等使用量の 原油換算合計量		3,684	kL/年
温室効果ガス (CO <sub>2</sub> 換算) 総排出量		7,214	t-CO <sub>2</sub> /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関する 措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況 報告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第 3 7 条 第 2 項 に 該 当 の 有 無		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
連 絡 先	所 属 部 署 職 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※備 考			

- 注
- 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
  - 2 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO<sub>2</sub>換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



平成 30 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者 II類 B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く) Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者 IV類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	国分グループ本社株式会社・株式会社マルエツフレッシュフーズ	
所在地	東京都中央区日本橋1-1-1・東京都豊島区東池袋5-51-12	
事業者番号	0522	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	3,684	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500kL未満で延床面積10,000㎡以上の事業所)		㎡
産業分類名 (中分類)	食料品製造業	
分類番号 (中分類)	09	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	<b>【国分グループ本社株式会社】</b> ■事業内容：酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及び流通加工、配送業務、貿易業、不動産賃貸借業ほか ■従業員数：5,152名(連結)(2017年12月) ■資本金：35億円  <b>【株式会社マルエツフレッシュフーズ】</b> ■事業内容：生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売 ■従業員数：852名(2018年11月) ■資本金：5,000万円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

## (3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	052201	国分・マルエツ 三郷流通センター	3,684
合計			3,684

## (4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	<a href="http://www.kokubu.co.jp/">http://www.kokubu.co.jp/</a> <a href="https://www.maruetso.co.jp/">https://www.maruetso.co.jp/</a>
	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所1	
		所在地1	
		閲覧可能時間1	
		閲覧場所2	
		所在地2	
		閲覧可能時間2	
	その他		

## (5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	国分グループ本社(株)経営企画部	03-3276-4121	03-3273-7305	
2	(株)マルエツ 顧客サービス環境推進部	03-3590-1210	03-3590-2683	
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

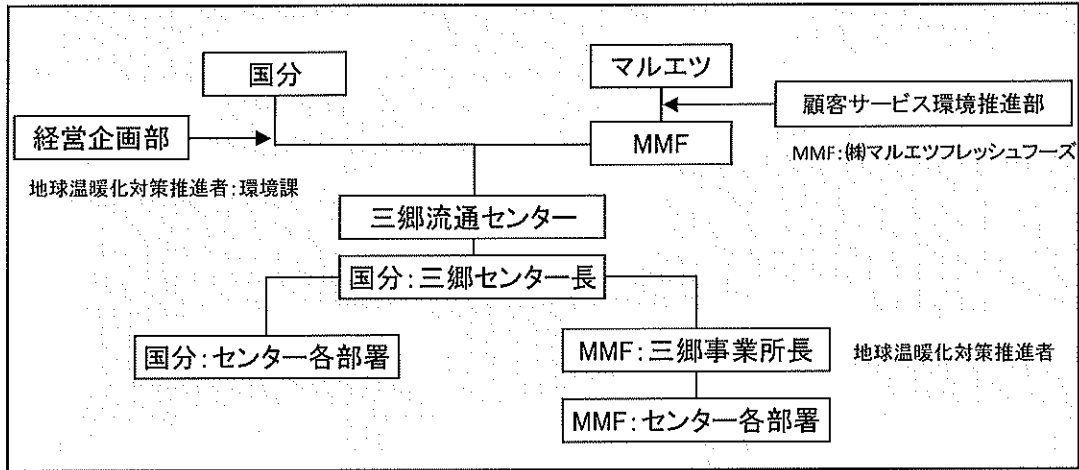
2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

【三郷流通センター】  
 国分グループ、マルエツグループの両者の基本方針に則り、協力して地球温暖化対策を推進いたします。

\*各社の環境基本方針  
 【国分株式会社】  
 国分グループの環境基本方針に従って行動します。  
 詳細：別紙参照（環境方針2017.1.1制定）

【株式会社マルエツフレッシュフーズ】  
 マルエツグループの環境基本方針に従って行動します。  
 詳細：別紙参照（マルエツグループ会社案内2017,p13）

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	7,090	7,320	7,214		
その他ガス					
温室効果ガスの合計	7,090	7,320	7,214		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	国分グループ本社株式会社 経営企画部
	推進者職名	課長
	氏名	古賀 秀之
	電話番号	03-3276-4121
推進者 連絡先 (複数選任し ている場合)	推進者所属部署	(株)マルエツフレッシュフーズ 三郷事業所
	推進者職名	三郷事業所長
	氏名	助原 周一
	電話番号	048-949-7661

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者が所属する事業者名称	国分グループ本社株式会社
	所在地	東京都中央区日本橋1-1-1
	担当者所属部署	経営企画部環境課
	担当者職名	環境担当
	氏名	青柳 美保子
	電話番号	03-3276-4121
	FAX番号	03-3273-7305
	E-mailアドレス	m92.aoyagi@kpost.kokubu.co.jp

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	送付・連絡先事業者名称	国分グループ本社株式会社
	所在地	東京都中央区日本橋1-1-1
	担当者所属部署	経営企画部環境課
	担当者職名	環境担当
	氏名	青柳 美保子
	電話番号	03-3276-4121
	FAX番号	03-3273-7305
	E-mailアドレス	m92.aoyagi@kpost.kokubu.co.jp

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

平成 30 年度

事業者番号	0522	事業所番号	052201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	国分・マルエツ 三郷流通センター		
事業所所在地	市区町村	三郷市	
	字・地番	インター南1-3-1	
産業分類名(中分類)	食料品製造業		
分類番号(中分類)	09		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	■事業内容:①酒類・飲食品のドライ・冷凍冷蔵倉庫(配送拠点)②生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売 ■従業員数:600名(パート・アルバイト含む)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	28	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準排出量 ○○t-CO <sub>2</sub> /年に対して、7.4%削減します。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)		t-CO <sub>2</sub>	事業所区分 第2区分	
	削減目標量(計画期間合計)		t-CO <sub>2</sub>		

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	~		年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	3,577	3,739	3,684		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		7,090	7,320	7,214		
その他 ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		7,090	7,320	7,214		

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				1.2738	1.2632	1.2092		
活動規模の指標	○	生産量	万パック数	5,566	5,795	5,966		
		出荷額	億円/年	261	275	327		



3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量		t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量検証	基準年度検証未実施	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

28	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)							
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)		6.0%	6.0%	6.0%	6.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							
実績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)		7,320	7,214			14,534	
	排出削減量 (F = A - E)							
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	安全衛生会議(月1回)、省エネ対策会議(年4回)を開催	H26以前	1
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	設備の保守管理契約を専門業者と締結し、適切な保守管理を実施	H26以前	1
3	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	冷凍冷蔵エリアの温度計測・記録の実施	H26以前	1
4	490100	その他	49_排出量取引	森林クレジットの購入計画の検討	H28年度	10
5	130100	空調設備・換気設備	13_空調設備の運転管理	事務所エリアの夏期28℃、冬季20℃に設定	H26以前	1
6	140300	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_冷凍冷蔵設備及びちゅう房設備の管理	冷凍倉庫の開閉扉にかかる運用ルールの徹底	H26以前	1
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	未使用エリアの照明電源OFFの徹底	H26以前	1
8	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	退社時におけるOA機器の主電源OFFの徹底(待機電力削減)	H26以前	1
9	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	管理台帳を作成し、エネルギー使用量の推移を把握している	H27年度	1
10	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	管理標準による設備単位のエネルギー管理を実施する	H27年度	1
11	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設定温度を実温管理とする	H27年度	1
12	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備のフィルター清掃、室外機の洗浄を定期的実施する	H26以前	1
13	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ガスヒートポンプの運転管理規定の見直し	H27年度	1
14	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーの定期点検の実施し、エア漏れを防ぐ	H27年度	1
15	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯設備のLED照明への転換	H29年度	1

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

Free description area for self-evaluation of measures implemented by the business operator.

環境理念



## 「人と社会に調和する商い」

～私たちは食を通じてこころ豊かな暮らしをお届けし、地球環境に配慮した商いをいたします～

環境方針

### 環境方針

#### 1 地球からの恵みを大切に、持続可能な社会の実現を目指します

- ①地球環境の汚染防止・負荷低減につとめます。
- ②食品のロス削減を目指します。
- ③環境に優しい備品・資材の利用を推進いたします。
- ④廃棄物の適正処理を徹底いたします。
- ⑤3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進いたします。

#### 2 事業活動における省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出抑制につとめます

- ①物流に関わる省エネルギーを推進いたします。
- ②オフィス・物流施設・工場・店舗での省エネルギーを推進いたします。
- ③フロン類の適正管理をいたします。

#### 3 環境コミュニケーションに積極的に取り組みます

- ①社会とのコミュニケーションや環境情報の開示につとめます。
- ②環境活動を通じて、企業価値向上を目指します。

#### 4 社員一人ひとりが環境に配慮した行動をいたします

- ①環境に関する情報をグループ全体で共有し、社員自ら知識を高めます。
- ②環境マインド(Eco-ゴコロ)を醸成し、高いレベルの行動とより信頼される商いをおこないます。

#### 5 環境管理体制を構築し、法令やルールを遵守いたします

- ①国分グループの環境管理体制を整えます。
- ②法令の理解を高めるための社員教育や啓蒙活動をおこないます。

2017年1月1日 制定 国分 勘兵衛  
代表取締役会長兼社長 CEO

## マルエツ環境方針

マルエツは地域に密着したスーパーマーケットとして、安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、お客様と共に環境保全活動や地域の環境活動への支援を推進します。

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。
  - ① 電気使用量削減等の省エネルギー・省資源を推進します。
  - ② 最終的な廃棄物を削減するために3R[リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。
  - ③ 地球温暖化防止のため、1店舗あたりのCO2排出量を削減します。
  - ④ 環境に配慮した商品の普及に取り組みます。
2. 環境保護のため汚染の予防や生態系の保護に努めるとともに、環境に関する適用可能な法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組みます。
4. この方針を社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

2017年12月1日

株式会社マルエツ

代表取締役社長 上田 真